

第 60 期

第 2 四半期決算説明資料

（ 自 平成 26 年 10 月 1 日
至 平成 27 年 3 月 30 日 ）

株式会社 マサル

1. 平成 27 年 3 月第 2 四半期の概況

当社は、平成 26 年 6 月 25 日開催の第 58 期定時株主総会において、定款の一部変更を決議し、決算日を 3 月 31 日から 9 月 30 日に変更いたしました。これに伴い、平成 27 年 9 月期第 2 四半期（平成 26 年 10 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日）に対応する前年同四半期連結累計期間がないため、対前期増減については記載しておりません。

(1) 業績の概況

当第 2 四半期連結累計期間における我が国経済は、経済政策や金融緩和策の効果に加え、継続的な円安基調、大幅な原油安が追い風となり、多くの企業で好業績が見込まれるなど、緩やかな回復基調を辿りました。また、好調な企業業績を背景に一部で賃金の上昇や雇用改善が見られた他、消費増税による駆け込み需要の反動減が一巡し、消費者マインドも、やや持ち直す傾向となりました。

建設業界におきましては、政府建設投資や都市部を中心とした民間非住宅投資が比較的堅調に推移したものの、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減の影響による民間住宅投資の減少の他、継続的な労務逼迫等による建設コストの高騰により、業界全体の経営環境は予断を許さない状況が続きました。

このような状況のなか、当社グループは中期経営計画「つねに発展し続ける未来型企業を目指す！」の最終年度の方針として、「フレキシブルに対応できる企業を目指す」と「現場力の強化」を掲げ、いかなる市場の変化にも対応できる強靱な体質を創り上げるとともに、「新たな顧客の開拓」と「技能員の確保と育成」を成長戦略の柱とし、永続的に発展する企業となることを目指してまいりました。「新たな顧客の開拓」につきましては、顧客情報の収集に努め、直接受注の増強を図り、「技能員の確保と育成」では、技能員の労働環境を改善するとともに、若年層技能員の確保に努めてまいりました。また、協力会社とともに、機動力・技術力を強化し、お客さまのニーズに積極的にお応えしつつ、業績の向上に努めてまいりました。

この結果、当第 2 四半期連結累計期間の受注高は 54 億 66 百万円となりました。売上高につきましては、60 億 75 百万円になりました。利益につきましては、営業利益は 3 億 65 百万円、経常利益は 3 億 58 百万円、四半期純利益は 2 億 42 百万円となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

	建設工事業	設備工事業	全社合計
受注高 (百万円)	5,188	277	5,466
売上高 (百万円)	5,453	621	6,075
セグメント利益 (百万円)	331	34	365

(注) 各セグメントの主要な事業内容は以下のとおりであります。

建設工事業…シーリング防水工事、メンブレン防水工事等、リニューアル工事
設備工事業…空調設備工事、給排水衛生設備工事、消防設備工事

なお、当社グループは、通常の事業の形態として每期 3 月に完成する工事の割合が大きいため、通期の売上高に比べ、第 2 四半期連結会計期間の売上高が大きくなっております。

(2) 会社に対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について、重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(3) 設備投資の状況

当第2四半期連結累計期間においては、主要な設備に重要な異動はありません。

(4) 資金調達の状況

当第2四半期連結累計期間においては、特別な資金調達はおこなっておりません。

(5) 財産及び損益の状況の推移

企業集団の財産及び損益の状況

区 分	期 別	第 58 期 第 2 四半期	第 59 期 第 2 四半期	第 60 期 第 2 四半期	第 59 期末
売上高	(百万円)	2,013	—	6,075	3,290
経常利益又は 経常損失(△)	(百万円)	△161	—	358	22
四半期(当期)純利益又は 四半期純損失(△)	(百万円)	△149	—	242	3
包括利益又は 四半期包括利益	(百万円)	△142	—	247	6
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は1株当たり四半期純損失 金額(△)	(円)	△33.35	—	53.93	0.83
純資産	(百万円)	2,665	—	3,144	2,906
総資産	(百万円)	7,068	—	7,974	7,996

(注) 第59期は、決算期の変更により平成26年4月1日から平成26年9月30日までの6ヶ月間となっております。このため、第59期は第2四半期連結財務諸表を作成しておりません。これに伴い、第59期第2四半期の企業集団の財産及び損益の状況についての数値は記載しておりません。

2. 会社の概況（平成 27 年 3 月 31 日現在）

(1) 主要な事業内容

- ① シーリング防水工事
- ② メンブレン防水工事等
- ③ リニューアル工事
- ④ 空調冷暖房給排水等の設備工事

(2) 主要な営業所

本 社 東京都江東区佐賀一丁目 9 番 14 号
第 1 営業部（東京都江東区）
第 2 営業部（東京都江東区）
第 3 営業部（東京都江東区）
たてもの改装部（東京都江東区）
営業所 千葉営業所（千葉県市川市）
㈱塩谷商会 東京都大田区蒲田三丁目 23 番 7 号

(3) 株式の状況

- ① 発行可能株式総数 17,300,000 株
- ② 発行済株式の総数（普通株式） 4,505,757 株
- ③ 株主数 620 名
- ④ 大株主（上位 10 名）

平成 27 年 3 月 31 日現在

株 主 名	所有株式数（千株）	持株比率（％）
株 式 会 社 操 上	900	19.97
株 式 会 社 荻 谷	640	14.20
化研マテリアル株式会社	215	4.78
荻 谷 純	202	4.49
株 式 会 社 み ず ほ 銀 行	188	4.19
マサル協力企業持株会	174	3.88
野 口 興 産 株 式 会 社	132	2.93
日本生命保険相互会社	129	2.87
マサル従業員持株会	126	2.80
菅 野 産 業 株 式 会 社	110	2.44
計	2,818	62.55

四半期連結貸借対照表

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	6,846,102	流動負債	4,098,051
現金及び預金	879,205	支払手形・工事未払金	1,464,297
受取手形・完成工事未収入金	3,578,242	短期借入金	220,000
未成工事支出金	2,197,583	1年内返済予定の長期借入金	579,761
材料貯蔵品	8,708	未払法人税等	118,895
その他	184,047	未成工事受入金	1,529,659
貸倒引当金	△1,685	賞与引当金	52,916
		工事損失引当金	10,579
固定資産	1,128,719	完成工事補償引当金	15,823
有形固定資産	722,073	その他	106,120
建物(純額)	157,995	固定負債	732,149
土地	557,269	長期借入金	663,258
その他(純額)	6,808	その他	68,891
無形固定資産	26,756	負債合計	4,830,200
ソフトウェア	6,207	(純資産の部)	
その他	20,549	株主資本	3,129,419
投資その他の資産	379,889	資本金	885,697
投資有価証券	87,553	資本剰余金	1,261,600
長期貸付金	12,564	利益剰余金	986,544
その他	352,124	自己株式	△4,422
貸倒引当金	△72,352	その他包括利益累計額	15,201
		その他有価証券評価差額金	15,201
資産合計	7,974,821	純資産合計	3,144,620
		負債純資産合計	7,974,821

(注) 記載金額は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書

〔 自 平成 26 年 10 月 1 日
至 平成 27 年 3 月 31 日 〕

(単位：千円)

科 目	金 額	
完 成 工 事 高		6,075,274
完 成 工 事 原 価		5,306,502
完成工事総利益		768,772
販売費及び一般管理費		402,982
営 業 利 益		365,789
営業外収益		4,294
営業外費用		11,649
経 常 利 益		358,434
特 別 損 失		2
税金等調整前四半期純利益		358,431
法人税、住民税及び事業税	113,597	
法人税等調整額	2,490	116,088
少数株主損益調整前四半期純利益		242,343
四 半 期 純 利 益		242,343

(注) 記載金額は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

四半期連結包括利益計算書

〔 自 平成 26 年 10 月 1 日
至 平成 27 年 3 月 31 日 〕

(単位：千円)

科 目	金 額	
少数株主損益調整前四半期純利益		242,343
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,042	5,042
四 半 期 包 括 利 益		247,385
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益		247,385

(注) 記載金額は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

四半期連結株主資本等変動計算書

〔自 平成 26 年 10 月 1 日
至 平成 27 年 3 月 31 日〕

(単位：千円)

項 目	株 主 資 本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	885,697	1,261,600	753,189	△4,106	2,896,379
四半期連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当			△8,987		△8,987
四半期純利益			242,343		242,343
自己株式の取得				△316	△316
株主資本以外の項目の四半期連結会計年度中の変動額（純額）					—
四半期連結会計年度中の変動額合計	—	—	233,355	△316	233,039
当四半期末残高	885,697	1,261,600	986,544	△4,422	3,129,419

(単位：千円)

項 目	その他包括利益累計額		純 資 産 合 計
	その他有価証券 評価差額金	その他包括利益 累計額合計	
当期首残高	10,159	10,159	2,906,538
四半期連結会計年度中の変動額			
剰余金の配当			△8,987
四半期純利益			242,343
自己株式の取得			△316
株主資本以外の項目の四半期連結会計年度中の変動額（純額）	5,042	5,042	5,042
四半期連結会計年度中の変動額合計	5,042	5,042	238,081
当四半期末残高	15,201	15,201	3,144,620

(注) 記載金額は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

〔 自 平成 26 年 10 月 1 日
至 平成 27 年 3 月 31 日 〕

(単位：千円)

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	358,431
減価償却費	7,083
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	432
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4,216
完成工事補償引当金の増減額 (△は減少)	△5,165
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	△3,419
受取利息及び受取配当金	△1,203
支払利息	10,268
売上債権の増減額 (△は増加)	△803,675
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	683,179
その他のたな卸資産の増減額 (△は増加)	83
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	35,608
仕入債務の増減額 (△は減少)	138,808
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	△490,756
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	3,843
その他	△757
小計	△63,021
利息及び配当金の受取額	1,150
利息の支払額	△9,303
法人税等の支払額	△2,967
営業活動によるキャッシュ・フロー	△74,142
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△6,705
貸付金の回収による収入	22,612
保険積立金の積立による支出	△10,306
その他	428
投資活動によるキャッシュ・フロー	6,028

(単位：千円)

科 目	金 額
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の増減額 (△は減少)	△321,690
長期借入れによる収入	640,000
長期借入金の返済による支出	△338,108
リース債務の返済による支出	△813
自己株式の取得による支出	△316
配当金の支払額	△8,987
財務活動によるキャッシュ・フロー	△29,915
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△98,029
現金及び現金同等物の期首残高	550,895
現金及び現金同等物の四半期末残高	452,865

(注) 記載金額は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。